

長、45人は2日、橿原市の重要伝統的建造物群保存地区「今井町」で、自動販売機の修景作業を行った。

# 町家意匠の自販機

橿原・今井町

## 県建築士会青年委、地元と協力で修景作業



自販機の修景作業を行う建築士と学生＝2日、橿原市今井町3丁目

昨年5月、地元のまちづくり団体や大阪工業技術専門学校(大阪市)などと一緒プロジェクトを立ち上げ、自販機の所有者らと意

見調整を重ねてデザインなどを決めた。高さ約2.2m、幅約1.4mの自販機の前面と側面を県産スギ・ヒノキ材で囲う

もので、格子やよらい張りといった町家の意匠を取り入れて設計。柿渋塗料で色も整えた。設計と制作は同大学2年

鬼塚陸さん(20)と佐々木勝紀さん(20)が担当。前面中央に手彫りの駒つなぎを飾り、側面には折り畳める腰掛け「ぼったり床几(しよつき)」を取り付けるなどこだわった。

現場作業で建築士が微調整をきめ細かく指導し、きつちりと仕上がると、町並みに調和したおしゃれな自販機が完成。鬼塚さんらは「景観になじんでいるかどうか多くの人に見てほしい。写真映えもすると思うので、ちょっとした話題になって売り上げにも貢献できれば」と期待。

県建築士会青年委員会のプロジェクトリーダー・桑原正弘さん(35)は「飲料会社や地元の人たちの協力があってできた事業。将来を担う学生にも学んでもらえてよかった」と話した。今回の費用は11万円で、うち6万円を橿原市が助成した。同会は要望があれば今後も考えられている。

御所実業高校1年の橋本凜太郎さん(16)は「身振り手振りでも分かりやすく教えてもらえた」と話し、同1年木谷耀助さん(16)も「普段しないような練習もあり、知らなかつ



小林さん(右手前)に投球動作を教わる野球部員＝1日、大淀町下洲の県立大淀高校グラウンド

## 筋力増強の食事を解説

### 県柔道整復師会が講演会

県柔道整復師会(川口貴弘会長)は2日、橿原市内膳町1丁目の市コンベンションルームで第44回定例学術講演会を行い、スポーツ栄養学や新しい医療など幅広く知識を深めた。一般にも公開し、約50人が参加した。

川口会長は「生涯勉強が大切。高め合った知識を術に活用してほしい」とあいさつ。三つのテーマで講演があり、畿央大学の永沢健教授は「トレーニング効果を引き出す食事戦略」と題し、研究成果を交えて話した。



スポーツ選手らが運動の前後や就寝前の補食を実践している筋力増強法について科学的根拠を示して解説し、効果的にたんぱく質を取る食事のタイミングやメニューを紹介した。続いて、施術二

## デスクメモ

日、弊社  
千秋楽徒  
うど一週  
姿に、  
千秋楽  
ね。あの  
ではの  
想像し  
の徳勝  
応援さ

ズの高い膝や腰  
いて理解を深め  
大整形外科教  
佐助教は同大学  
研究も紹介。県  
の岩井誠医師は  
で異常がない腰  
とも指摘。心因  
原因と経過の詳  
適切な対応の必  
た。